



盛岡市立図書館でも被害

記念誌 切り取り 中学と高校の2冊

全国の図書館で学校史などの切り取り被害が相次ぐ中、盛岡市高松の市立図書館（馬場雄一館長）で被害があったことが12日、分かった。市内の公立高校と公立中学校の記念誌計2冊で、掲載写真の一部が切り取られた。現時点で県内の他の図書館から被害報告はないが、未調査の施設も多い。

破られたのは高校が1992年発行の創立30周年記念誌、中学校は82年発行の

活動報告誌で、ともに部活や行事を紹介する写真部がなくなっていた。一方は定規を当てたような丁寧な切り口だが、もう一冊は手で破いたように荒い。いずれも閲覧だけが可能な郷土開発資料室に所蔵していた。

全国の被害を受け、窓口業務を委託されている業者が学校史や記念誌を調査し、7日に被害が判明した。

同館の利用者は1日平均530人で、資料室の利用者は同10人以下。毎年2月

の蔵書の定期点検では中身を確認しておらず、切り取られた時期は不明だ。

同館は被害届の提出を検討しており、馬場館長は「非常に残念な事態。図書館の性質上、監視強化や利用手続きの複雑化などは考えていないが、市民全員の財産を大切に扱ってほしい」と注意喚起する。

12日には本県のほか、宮城、栃木、神奈川、静岡、福井、佐賀各県の図書館で新たな被害が判明した。

宮古でも切り取り

市立図書館 学校史が破損

盛岡市など全国の図書館で学校史などの切り取り被害が相次ぐ中、宮古市宮町の市立図書館（佐藤広昭館長）でも被害があったことが13日、分かった。

破られたのは市内の小学校史の集合写真の一部で、刃物のようなもので切り取られた。毎年3月の蔵書の定期点検では中身を確認しておらず、切り取られた時期は不明。貸し出しはしていないが、誰でも閲覧できる状態だった。

切り取られた学校史は、昨春秋に同図書館で開いた「破損本などを紹介する」かわいそうな本展で展示し、資料の取り扱いについて注意喚起した。

佐藤館長は「手芸や料理など趣味の情報誌についても興味がある部分を破り取る人がいる。市民の貴重な財産なので大切に切り扱ってほしい」と語る。

↑(2017年5月13日付・岩手日報27面)

↑(2017年5月14日付・岩手日報22面)

※全国にせよ、図書館とよかん、学校史がところし、切り取るまきりとる、被害ひが、相次ぐあいつぐ、盛岡市高松もりおかしたかまつ、市立しりつ、館長かんちよう、市内しんない、公立高校こつりつこつこつ、中学校ちゆうがつこつ、記念誌きねんし、計けい、冊さつ、掲載写真けいさいしやしん、部いちがぶ、現時点げんじてん、県内けつんない、他ほか、報告ほうご、未調査みちようさ、施設しせつ、破られたやぶられた、発行はこつ、創立そつりつ、周年しゅうねん、活動報告かつどうほうご、部活動ぶかつどう、行事ぎようじ、紹介しようかい、写真部分しやしんぶぶん、一方いつほう、定期じようぎ、当てたて、丁寧ていねい、切り口きりぐち、手て、荒いあらい、閲覧えんざんちぎちぎ、委託いたく、業者ぎようじや、判断はんぱん、利用者りようじや、平均へいさん、以下いげ、毎年まいとし、蔵書そうしよ、定期点検ていきてんけん、中身なみ、確認かくにん、時期じき、不明ふめい、届とどけ、提出いしゆつ、検討けんとう、非常ひじよう、残念ざんねん、事態じたい、性質しせつ、監視強化かんしききようか、手続きてづき、複雑化ふくざつか、考えかんがえ、市民全員しみんぜんいん、財産ざいさん、大切たいいせつ、扱てあつかつて、注意喚起ちゆういかんき、本県ほんけん、宮城みやぎ、栃木とちぎ、神奈川かながわ、静岡しずおか、福井ふくい、佐賀さが、各県かくけん、宮古市宮町みやこしみやまち、集合しゆうごつ、刃物ばもの、貸し出しかしだし、誰だれ、状態じようたい、昨春秋さくねんあき、破損ほんはそんぽん、本ほん、展てん、展示てんじ、手芸しゆげい、料理りようり、趣味しゆみ、情報じようほう、興味ききようみ、貴重きちよう、語るかたる

1. 二つの記事で取り上げられているのは、どこの市町村ですか。
2. 二つの記事に共通しているのは、どのようなことですか。
3. 切り取られた記念誌は「かわいそうな本展」で展示し、注意喚起したとあります。あなたなら、どのような言葉で注意喚起しますか。

年 組 名前